

日本健康社会応援ファンド  
最近の運用状況について



2018年7月10日

平素は、「日本健康社会応援ファンド」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、おかげさまで6月20日に第1期計算期末を迎えることができました。  
今回は、当ファンドの魅力と最近の運用状況についてお知らせ致します。

＜基準価額・純資産の推移＞

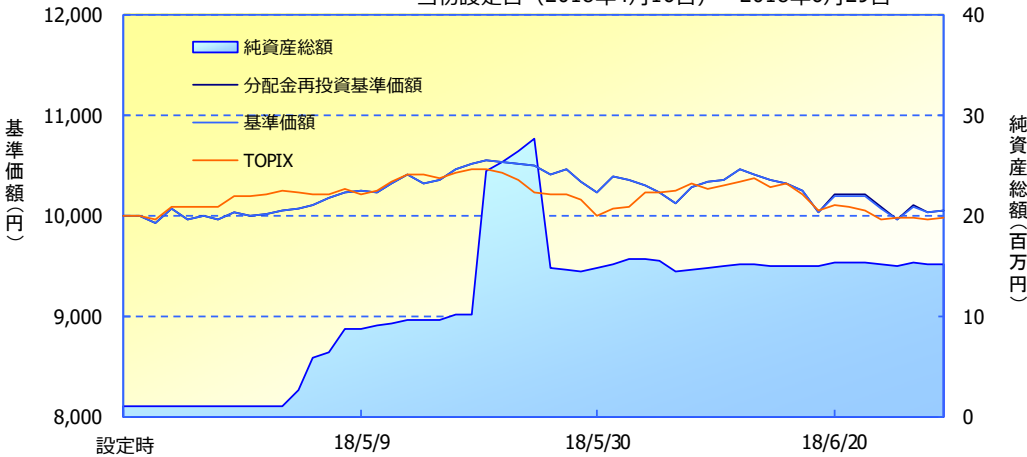
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

当初設定日（2018年4月16日）～2018年6月29日

2018年6月29日現在

|       |          |
|-------|----------|
| 基準価額  | 10,037 円 |
| 純資産総額 | 15百万円    |
| TOPIX | 1,730.89 |

| 期間別騰落率 |        |        |
|--------|--------|--------|
| 期間     | ファンド   | TOPIX  |
| 1カ月間   | -3.3 % | -0.9 % |
| 3カ月間   | ----   | ----   |
| 6カ月間   | ----   | ----   |
| 1年間    | ----   | ----   |
| 3年間    | ----   | ----   |
| 5年間    | ----   | ----   |
| 年初来    | ----   | ----   |
| 設定来    | +0.5 % | -0.3 % |



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。  
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の月末までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。  
※TOPIX（東証株価指数）は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。  
※グラフ上のTOPIXは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。  
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。  
販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

# 当ファンドでの注目点 ～Beyond Health～

## ココロ・カラダ・社会の健康と日本の未来を支える銘柄に投資

### 今こそ健康をとりまく社会環境の変化に注目

健康は誰にとっても大切なものです。現代社会では、健康とは、カラダの状態が良好であるだけでなく、「メンタルヘルス」という単語に代表されるように精神面の健康やココロの充足感も重視されています。また、ココロとカラダの健康に強い影響を与える社会のあり方も切り離せるものではなく、近年では、「働き方改革」「ワーク・ライフ・バランス」など、従業員の健康を重視した企業の取り組みが広がっています。

### 「人生100年時代」が到来

日本の未来を考える際、健康は重要なトピックのひとつです。たとえば、「人生100年時代」の到来が近づき、世代を問わず、より強く健康が意識される今、健康増進のための食事やヘルスケアのあり方が変わってきています。また、労働人口が減少するなかで、企業は従業員が長く健康で働き続けられる環境を提供する一方、最先端のテクノロジーを駆使して生産性の向上を図るための投資も活発に行なっています。そして、自由な時間が増えた成熟社会では、ココロの充足感の求め方も多様化し、新しいサービスや商品の提供がはじまっています。

### 健康面から豊かで新しい社会を支える銘柄に投資

このように、健康をとりまく社会環境の変化とともに、次の成長産業が芽を出しはじめており、企業のビジネスモデルにも変化が見られます。2025年に団塊世代のすべてが75歳以上の後期高齢者となる日本では、ココロ・カラダ・社会の健康の重要性が更に意識され、健康面から日本の未来を支える企業への注目度が高まることが期待されます。当ファンドでは、健康とその先にある豊かで新しい社会（Beyond Health）を創る企業の活力に注目します。

## 「健康社会」を支える4つのテーマ

当ファンドは、前述のような健康をとりまく社会環境の変化に注目し、「国民の健康維持・増進に貢献している企業」、「従業員の活力向上や効率的な労働環境の整備に取り組んでいる企業」、「社会システム全般の自動化・効率化により生産性の向上を推進している企業」、「快適な社会インフラや娯楽サービスの提供等を行なっている企業」という4つのテーマに沿った企業に投資を行なっています。

### 「健康社会」を支える4つのテーマ

#### 「健康社会」

国民の寿命が延びるとともに、  
長期にわたって心身ともに  
健康で充実した生活をおくれる社会です。

テーマ  
1

国民の健康維持・  
増進に貢献している  
企業

医療、介護、医薬品な  
ど（ヘルスケア、食事  
関連）



テーマ  
2

従業員の活力向上  
や効率的な労働環  
境の整備に取り組ん  
でいる企業

従業員の健康増進、  
働きやすい環境など  
（健康経営、ESG）



テーマ  
3

社会システム全般の  
自動化・効率化によ  
り生産性の向上を推  
進している企業

AI、IoT、ロボット、  
ビッグデータなど



テーマ  
4

快適な社会インフラや  
娯楽サービスの提供  
等を行なっている企業

インフラ、レジャーなど



※上記は「健康社会」の維持・発展に寄与するサービスの例であり、上記以外のサービスを提供する企業に投資することがあります。

# 「健康社会」を支える4つのテーマ

## テーマ 1

### 国民の健康維持・増進に貢献している企業

#### 医療や介護、ヘルスケア、食事関連などの企業に注目

急速に高齢化が進む日本では、増加する医療費を抑制するためにも病気の予防が急務です。シルバー世代では、平均寿命と健康寿命（日常生活に制限のない期間）の差の縮小が課題であり、健康寿命を延ばす取り組みに注目が集まります。現役世代では、日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病予防のため、メタボリックシンドローム対策の意識が強まっています。国民の健康に関する悩みをサポートし、健康意識の高まりから恩恵を受ける企業などに注目をしていきます。

## テーマ 2

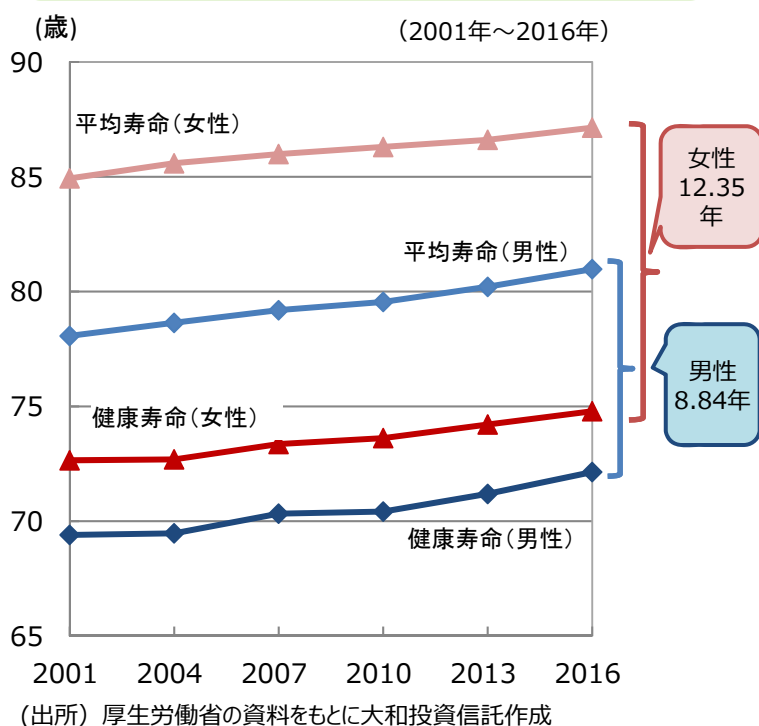
### 従業員の活力向上や効率的な労働環境の整備に取り組んでいる企業

#### 働き方改革や健康増進に取り組む「健康経営」企業などに注目

企業では、所定外労働時間の削減やさまざまな勤務形態の提供、従業員の健康増進などの労働環境の整備が進められています。「健康経営」を行なっている企業では、社員のモチベーションの向上や、離職率の低下、新卒採用などの労働市場での価値向上、企業業績の向上が効果として表れており、長期的な企業価値の向上を図る取り組みとして注目が集まっています。

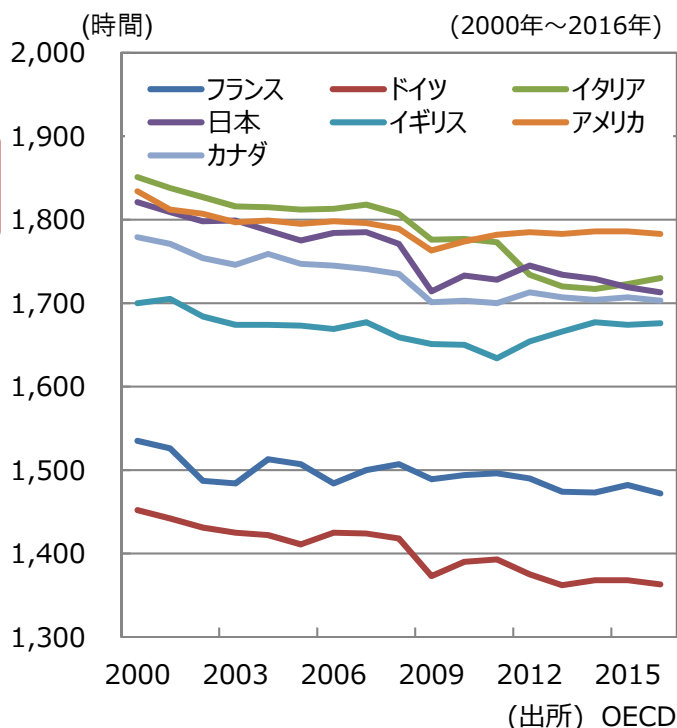
#### 日本人の平均寿命と健康寿命の推移

平均寿命と健康寿命の差は、2016年の調査では、男性で8.84歳、女性で12.35歳となっています。



#### 就業者1人当たり平均年間総労働時間

日本の就業者1人当たり平均年間総労働時間は低下傾向にあるものの高い水準にあります。





## 社会システム全般の自動化・効率化により生産性の向上を推進している企業

### 未来を支えるテクノロジーに注目

労働人口の減少が課題である日本では、人間の労働力の補完・代替として、自動化・効率化による生産性向上が不可欠です。社会を助ける頭脳としての AI（人工知能）、手足としてのロボット、神経としてのIoT（モノのインターネット化）など、新しいテクノロジーの活用に注目が集まります。今後、テクノロジーを活用した社会システムの高度化が進むことが予想されており、危険労働のロボットでの代替や、過疎地での医療サービスの提供など、さまざまな課題解決に役立つことが期待されます。



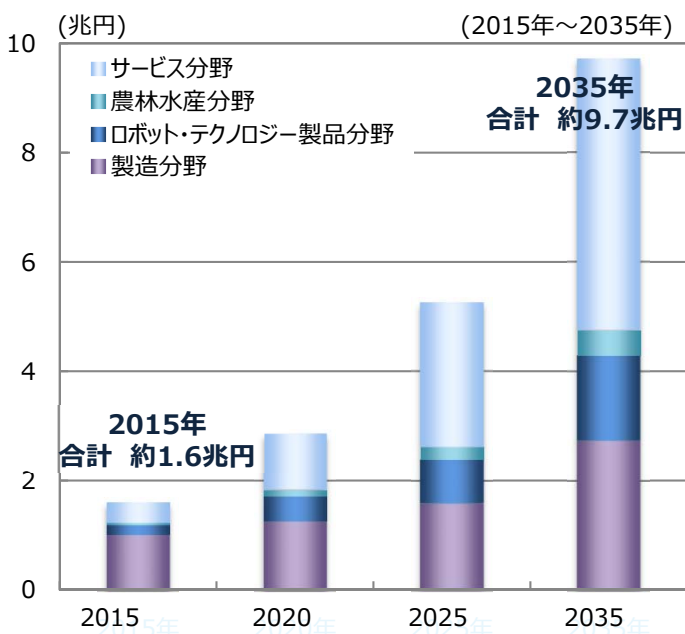
## 快適な社会インフラや娯楽サービスの提供等を行なっている企業

### 余暇を楽しむインフラやレジャー関連などの企業に注目

働き方改革の進展などにより余暇時間が増加することで、旅行や人気のテーマパークに出かけたり、映画やドラマを見て家でゆっくり過ごす機会などが増えることが期待されます。また、社会インフラの高度化に伴い、余暇における家族・友人などのコミュニケーションの取り方や、ショッピングを楽しむ方法、話題の動画の視聴方法などにも変化が起こり、利便性が高まっていくでしょう。成熟社会でのココロの充足感の求め方の変化などにも注目が集まります。

### 日本のロボット産業の将来市場予想

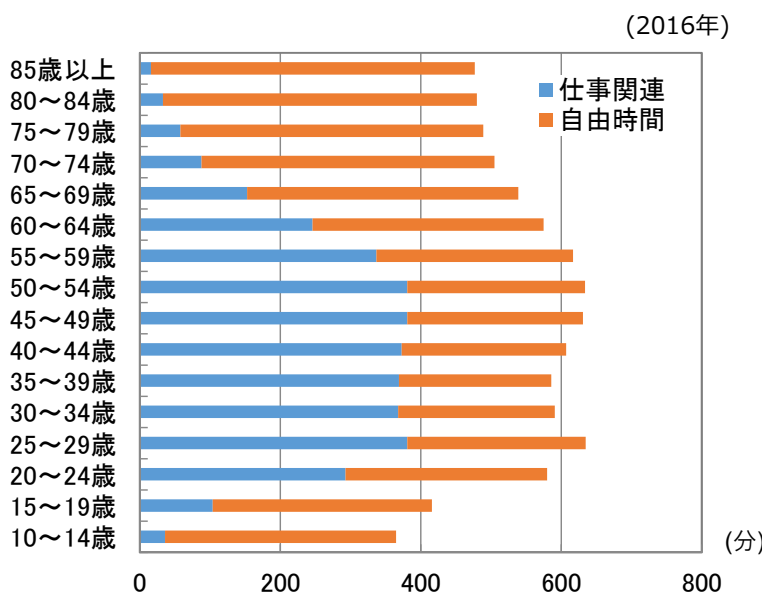
人間の労働力の補完・代替としての活躍が期待されるロボット産業は、今後の市場拡大が予測されています。



(出所) NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)  
「ロボット将来市場予測 2010.4」

### 仕事時間、自由時間の一日の総平均時間

健康経営企業の増加や生産性の向上により仕事関連に費やす時間が減少し、余暇時間の増加が期待されます。



※仕事関連は、「仕事」「通勤・通学」の合計。自由時間は、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」「休養・くつろぎ」「学習・研究(学業以外)」「趣味・娯楽」「スポーツ」「ボランティア活動・社会参加活動」の合計。

(出所) 総務省統計局「平成28年社会生活基本調査結果」





# が注目するキーワード

## 2025年問題

日本では、2025年に団塊世代のすべてが75歳以上の後期高齢者となり、医療と介護の重要性が更に高まるが見込まれています。医療と介護の現場の課題解決を行なう企業に着目します。

## 自動化

日本では生産人口が減少する中、生産性の向上が急務です。ロボット産業や、AI、IoT、ビッグデータなど生産性の向上を助ける企業に注目します。

## ICT

「Information & Communication Technology（情報通信技術）」の略。医療・介護・健康分野におけるICTの活用により、社会保障費の増大や遠隔医療などの社会的課題を解決し、高品質な医療サービスの提供拡大が期待されます。

## ヘルステック

「ヘルスケア×テクノロジー」の造語。健康管理を行なうウェアラブル・デバイスなど身近なものだけでなく、医療分野の課題を解決するプラットフォームとしての活用が期待されています。

## 健康寿命の延伸

超高齢社会の到来を迎え、日本政府は「国民の健康寿命が延伸する社会」の取り組みを行っています。世界的にも平均寿命が長い日本での健康に対する取り組みに注目します。

## アクティブ・シニア

自分なりの価値観を持ち、趣味に意欲的で元気なシニア世代。消費のけん引役として注目を浴びています。

## 健康経営

企業が健康経営を戦略的に推進することで、従業員の活力や生産性の向上などの組織の活性化をもたらし、結果的に業績や企業価値の向上につながることを期待されています。

## メタボ市場

メタボリックシンドロームも現代人の課題です。予防・改善のための健康食品やフィットネス市場、診断・治療のための医療分野などに注目します。近年では、小児肥満も社会問題となっています。

## レジャー産業

ワーク・ライフ・バランスの推進による自由時間の増加から恩恵を受けるレジャー産業にも注目します。訪日外国人の増加も追い風となり、投資が活発なレジャー産業の更なる発展が期待されます。



では、上記のキーワードのような成長テーマに注目して投資をしていきます！

# 設定来の運用状況

## <運用経過>

当ファンドでは、健康社会の維持・発展に寄与し、その恩恵を享受できると考えられる企業に投資を行っています。「国民の健康維持・増進に貢献している企業」では、「眼の健康寿命」の延伸に取り組むビジナリーHLDGSや、赤ちゃんからお年寄りまであらゆる世代が快適に過ごすための商品を提供しているユニ・チャームなどに投資を行ないました。「従業員の活力向上や効率的な労働環境の整備に取り組んでいる企業」ではユニークな働き方を提唱しているスタートトゥデイ、4年連続「健康経営銘柄」に選定されているSCSKなどを組み入れました。「社会システム全般の自動化・効率化により生産性の向上を推進している企業」では、IoT・AI化で活用の方が広がるイメージセンサー大手のソニー、「快適な社会インフラや娯楽サービスの提供等を行っている企業」では、大型ショッピングモールなどでアミューズメントパークを運営するイオンファンタジーなどに投資を行ないました。

## <今後の運用方針>

国内株式市場の見通しについては、世界的な貿易摩擦懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まるなか、引き続き、各国の通商政策の方向性や貿易摩擦懸念による景況感の変化などにより上下に振れやすい展開を予想します。また、当面は、7月後半から始まる第1四半期の決算発表で、底堅い企業業績動向が確認出来るかが相場の注目点になると考えます。

当ファンドで注目する健康関連の国内企業を見た場合、国民の健康意識の高まりや超高齢社会の進展、社会インフラの高度化などをビジネスチャンスとして捉え、ユニークな商品やサービスの提供により成長が見込まれる企業が数多く存在します。先行き不透明感が強まる相場環境ではありますが、株価位置やバリュエーション、業績動向などを精査しつつ、テーマの将来性から成長が見込まれる銘柄への投資を行なうことで中長期的な基準価額の上昇を目指していきたいと考えています。健康関連の成長テーマのなかでは、働き方改革の恩恵を受ける省人化・ロボット関連や業務自動化関連の銘柄、健康寿命の延伸への取り組みから恩恵を受ける銘柄などに注目しています。

上記のような見通しのもと、ファンドのパフォーマンス向上に努めてまいります。引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

# 組入銘柄のご紹介

## ①国民の健康維持・増進に貢献している企業 ビジナリーHLDGS

- ✓ メガネ小売りチェーンのメガネスーパーを中核とする持ち株会社。
- ✓ アイケアカンパニー宣言を行い「眼の健康寿命」を伸ばすために解決策を提供する企業として転身。
- ✓ 価格帯が二極化するメガネ市場で、高品質・高付加価値メガネを求める消費者のニーズにきめ細やかに応える営業に強み。
- ✓ 団塊ジュニア世代が老眼鏡が必要となる年代となり、高付加価値メガネの需要拡大が見込まれる。

## ②従業員の活力向上や効率的な労働環境の整備に取り組んでいる企業 スタートトゥデイ

- ✓ 衣料品のネット通販サイトの「ZOZOTOWN」を運営。出店ブランドの増加と利用者数の拡大が両輪となり、業績は堅調に推移。
- ✓ 採寸用ボディースーツ「ZOZOSUIT（ゾゾスーツ）」を希望者に無料配布し、ネット通販の課題であるサイズの不安を解消。特に男性の利用拡大が期待される。
- ✓ 「ろくじろう」という独自の「6時間労働制」の取り入れ、働き過ぎの日本人に新しい働き方を提案。「幕張手当」や「自学手当」などのユニークな福利厚生制度も話題に。

## ③社会システム全般の自動化・効率化により生産性の向上を推進している企業 ソニー

- ✓ A V 機器、ゲーム機、イメージセンサー、映画・音楽分野、金融など、多岐にわたる事業を展開。
- ✓ スマートフォンやデジタルカメラに利用されるイメージセンサーは、世界トップクラスのシェア。近年では、車載カメラやAI技術を用いた自動監視システムなどでも使用される。
- ✓ AIやIoTを活用した社会システム全般の自動化・効率化により、同社製品の更なる利用拡大が見込まれる。

## ④快適な社会インフラや娯楽サービスの提供等を行なっている企業 イオンファンタジー

- ✓ 大型ショッピングセンター内のアミューズメントパークを運営し、アジアを中心に海外展開にも積極的。
- ✓ 2025年度に目指す姿として、「アジアNo.1の屋内型ファミリーエンターテインメント企業」を掲げる。
- ✓ 働き方改革の進展により余暇時間が増加することで、恩恵を享受することが期待される。

| 組入上位10銘柄   |         | 合計30.0% |
|------------|---------|---------|
| 銘柄名        | 東証33業種名 | 比率      |
| ビジナリーHLDGS | 小売業     | 6.8%    |
| ユニ・チャーム    | 化学      | 3.2%    |
| タカラバイオ     | 化学      | 3.0%    |
| 薬王堂        | 小売業     | 2.6%    |
| ピジョン       | その他製品   | 2.6%    |
| イオンファンタジー  | サービス業   | 2.6%    |
| ソニー        | 電気機器    | 2.4%    |
| スタートトゥデイ   | 小売業     | 2.3%    |
| リニカル       | サービス業   | 2.3%    |
| SCSK       | 情報・通信業  | 2.2%    |

※2018年6月末時点  
※比率は、純資産総額に対するものです。  
※個別企業の推奨を目的とするものではありません。



日本健康社会応援ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

わが国の株式の中から、「健康社会」の維持・発展に寄与し、その恩恵を享受できると考えられる企業に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

- 1. 「健康社会」に着目して投資候補銘柄を選定します。
    - 「健康社会」とは、国民の寿命が延びるとともに、長期にわたって心身ともに健康で充実した生活をおくれる社会です。
  - 2. 徹底したリサーチにより投資魅力の高い銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。
    - 投資候補銘柄の中から、徹底したボトムアップ・アプローチを重視した個別企業の分析および投資環境の分析を行い、投資魅力の高い銘柄を選定します。
    - 個別銘柄の流動性、株価水準等を考慮し、ポートフォリオを構築します。
    - 投資候補銘柄およびポートフォリオの組入銘柄については、適宜見直しを行ないます。
  - 3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
    - マザーファンドは「日本健康社会応援マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。
- 「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「中小型株式への投資リスク」、「特定の業種への投資リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」  
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。  
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

| 投資者が直接的に負担する費用      |                                  |                                                                           |
|---------------------|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
|                     | 料率等                              | 費用の内容                                                                     |
| 購入時手数料              | 販売会社が別に定める率<br>〈上限〉3.24%（税抜3.0%） | 購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。                                    |
| 信託財産留保額             | ありません。                           | —                                                                         |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 |                                  |                                                                           |
|                     | 料率等                              | 費用の内容                                                                     |
| 運用管理費用<br>（信託報酬）    | 年率 1.5444%<br>（税抜 1.43%）         | 運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。                              |
| その他の費用・<br>手数料      | （注）                              | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 |

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。  
※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問い合わせください。  
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和投資信託  
Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

## 日本健康社会応援ファンド 取扱い販売会社

| 販売会社名（業態別、50音順）<br>（金融商品取引業者名） |          | 登録番号            | 加入協会    |                         |                         |                            |
|--------------------------------|----------|-----------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
|                                |          |                 | 日本証券業協会 | 一般社団法人<br>金融先物<br>取引業協会 | 一般社団法人<br>日本投資<br>顧問業協会 | 一般社団法人<br>第二種金融商<br>品取引業協会 |
| 株式会社SBI証券                      | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第44号  | ○       | ○                       |                         | ○                          |
| 楽天証券株式会社                       | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第195号 | ○       | ○                       | ○                       | ○                          |

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。